

秋田県立大学ジョブシャドウイング

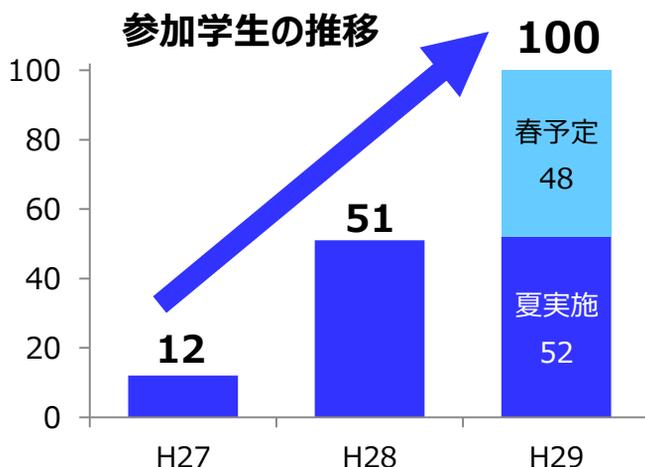
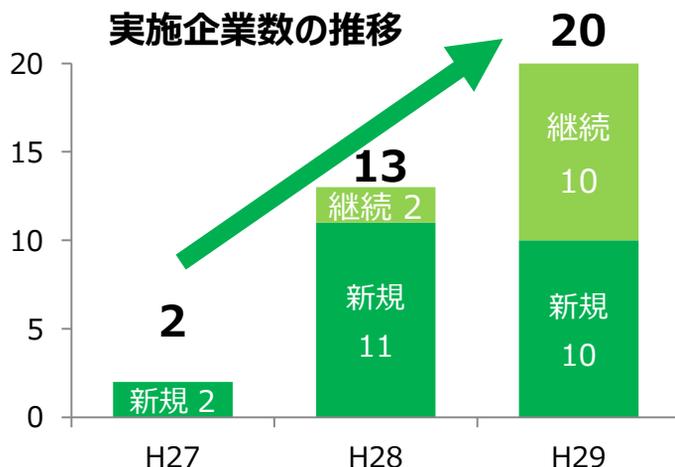
ジョブシャドウイング(Job Shadowing)とは、学生が事業所で働く大人に「影」のように寄り添い、その仕事内容や職場での様子を観察する実習プログラムです。

秋田県立大学では、1・2年次生を対象とした県内企業における観察型の一泊インターンシップとして、文部科学省の支援を受けて平成27年度から実施しています。

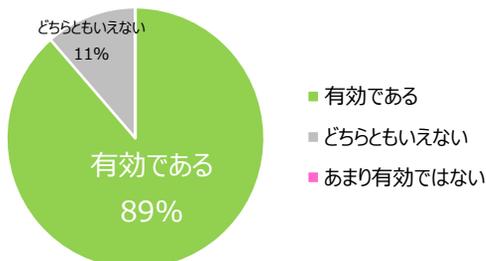
ジョブシャドウイングの看板メニューとその特徴

- ①企業トップが自ら経営理念を伝える「経営者講話」により、学生へのインパクト大
- ②メンターとのランチミーティングで働く若者の本音トーク、学生の企業理解が浸透
- ③本学卒業生を中心とした大卒の若手メンターが対応、学生への教育効果が高い
- ④プログラム全般を大学側から中小企業にパッケージで提案、企業負担の大幅減

実施企業・参加学生の大幅増、高い満足度



企業の満足度 (学生への有効性について)



学生の満足度 (自分に対する有効性について)



※H29夏季の企業・学生アンケートより